

再提出は一週間後  
 基本的に元のレポートはいじらず、訂正ページのみ別冊子にて元のレポートと一緒に提出すること。  
 元のレポートにページが記入してない場合は記入し、別冊子には何ページの訂正かが明確になるよう  
 に記述すること。  
 このチェックシートは別冊子の1ページ目に入れること。

番号 氏名

必須事項	目的	概要	使用機器	方法	考察	問題		
チェック欄								
課題・問題のチェック						学生 チェック	指導者チェック	
課題2-1-4	スピードとモータへの値のグラフ							
問題2-1-2	誤差のグラフ							
問題1	1 RS232-Cについてハードウェア、プロトコルを含めて調べなさい。(コネクタの信号について、信号の波形)							
	2 例題のプログラムではデューティサイクルが50%の周波数を発生していますが、もしこのデューティサイクルの計算を変えたら何が起こりますか？どこをどのようにしたらどのようになるかを、理論的に説明しなさい。(フーリエ解析を利用する)							
	3 何故FreqoutクラスはPWMクラスから派生させたのか？ここで用いているプログラムを例に挙げて具体的に説明しなさい。							
問題2-1-1	1 PWMクラスで使うことのできるメソッドを調べ、その機能を説明しなさい。							
	2 オブジェクト変数(インスタンス変数)はどれか。							
	3 moveメソッドはどのような値でサーボを動かしているか？							
	4 ? : の意味は理解しているか。これを説明しなさい。							
問題2-1-2	スピードのグラフより誤差のグラフを求めなさい。 $\text{誤差}[\%] = \frac{\text{実際の値} - \text{予想値}}{\text{予想値}} \times 100\%$							
綴じ方	内容が正しく見ることが出来る(A4, 左2 or 3ヶ所)							
	各用紙に通し番号でページを記入							
	目的、方法、結果、考察の順に配置							
	実験目的、方法を簡潔に記述							
実験結果のまとめ	実験データの単位を記入							
	表の通し番号・タイトルを記入							
	図の通し番号・タイトルを記入							
	グラフに目盛り、軸の名称、単位を記入							
	測定値のグラフに近似曲線を記入							
	レポート全体の丁寧な記述							
提出期限の								
検討、考察	報告事項の記述							
	実験結果と理論の比較、検討							